



ポータブルIC オーディオプレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



XDM-S710BT



警告

安全のために

この製品は安全に充分配慮して設計されています。
しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、
火災や感電などにより人身事故になることがあります危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

5～8ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に1度は、ほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



- ① 電池を抜く
- ② お買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターに修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



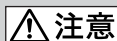
危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



破裂

行為を禁止する記号



接触禁止



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

付属のソフトウェアについて

- ☐ 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- ☐ 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- ☐ 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
- ☐ 本機に付属のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- ☐ 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- ☐ 本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。

Program © 2001, 2002, 2003, 2004 Sony Corporation

Documentation © 2004 Sony Corporation

- OpenMG およびそのロゴはソニー株式会社の商標です。
- SonicStage およびそのロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- ATRAC、ATRAC3、ATRAC3plus およびそのロゴはソニー株式会社の商標です。
- “MagicGate”（マジックゲート）およびそのロゴはソニー株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows および Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

目次

⚠ 危険・⚠ 警告・⚠ 注意	5
こんなことができます	9
オーディオプレーヤーとして	9
Bluetooth機能搭載機器として	10
本機の主な特長	11
準備1：付属品を確認する	12
準備2：電池を挿入する	13
各部のなまえ	14
本体	14
表示部	15

基本的な使いかた

パソコンから本機に音楽を転送する	16
本機で音楽を聞く	18
グループ機能とは	19
その他の操作	19

進んだ使いかた

リピートモード	20
リピートモードを選択する	20
曲を繰り返し再生する (トラックリピート)	21
曲の一部を繰り返し再生する (A-Bリピート)	21
トラックの指定ポイントのセンテンスを 繰り返し再生する (センテンスリピート)	22
リピート回数を設定する	23
表示モードを切り換える	24
グループ表示を見るには	25
高音や低音を強調する(デジタルサウンド プリセット)	25
音質を選ぶ	25
音質を変える	26
誤操作を防ぐ(HOLD)	27
音楽以外の情報を持ち運ぶ	27

本体の設定を変える

パソコンの内蔵時計に 本体の時計を 合わせる	28
---------------------------	----

この取扱説明書では、ポータブルICオーディオプレーヤー本体の操作について説明しています。付属の SonicStageソフトウェアについては別冊の「ソフトウェアインストール・操作ガイド」をご覧ください。

現在時刻を設定する (DATE-TIME)	29
音もれを抑える (音量リミット-AVLS)	30
お好みの音量を設定する (プリセット ボリューム)	31
プリセットモードの音量を設定する	31
マニュアルモードに戻すには	32
ピッという確認音を鳴らさないようにする (BEEP)	32
液晶バックライトの点灯のしかたを変える	33

その他の機能

音楽データを再グループ化する (REGROUP)	34
メモリーを初期化する (FORMAT)	35

その他

使用上のご注意	36
ご注意	36
お手入れについて	36
故障かな?と思ったら	37
リセットするには	37
こんなときは	37
こんな表示が出たら	41
保証書とアフターサービス	43
主な仕様	44
用語解説	45
メニュー一覧	46

MP3 File Managerを使う

MP3 File Managerとは	47
パソコンから本機にMP3ファイルを 転送する	47
MP3 File Managerの表示	49
ファイルを消去する	50
曲順を変える	50

Bluetooth機能を使う

Bluetoothとは	51
本機を携帯電話に登録する (ペアリング)	55
接続を確認する (リンク)	56
本機でハンズフリー通話する	57
本機から電話をかける (ダイヤリング)	58

索引	59
----	----



発熱、発火、破裂などを避けるため、必ず下記の注意事項をお守りください。

火の中に入れない



禁止

分解しない

感電の原因となります。内部の点検および修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口、アイワお客様相談センターにご依頼ください。



分解禁止



火のそばや炎天下などで放置しない



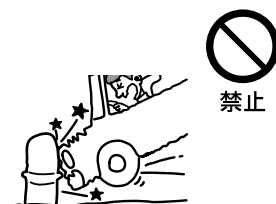
禁止



下記の注意事項を守らないと火災・感電により**大けが**の原因となります。

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。



内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電池を抜き、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口、アイワお客様ご相談センターにご相談ください。





下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるぐらいの音量で聞きましょう。



禁止

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、ヘッドホンで聞くとときにはご注意ください。



禁止

本体を布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



禁止

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記のことを必ずお守りください。



危険 乾電池が液漏れしたとき

乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。

液が本体内部に残ることがあるため、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターにご相談ください。

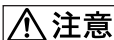
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。



警告

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。



注意

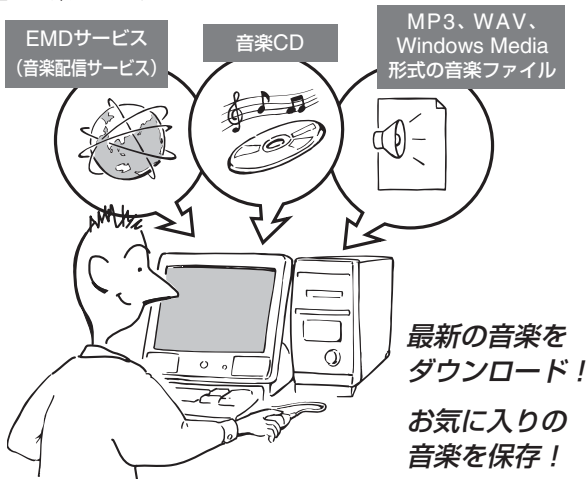
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

こんなことができます

オーディオプレーヤーとして

最初に付属のCD-ROMから「SonicStageソフトウェア」をパソコンにインストールします。（「MP3 File Manager ソフトウェア」は、本機にプリインストールされています。）パソコンのハードディスクに保存した音楽データを本機内蔵のフラッシュメモリーに転送することで、好みの音楽データを手軽に持ち運んで楽しめます。

1 パソコンに 音楽を保存



2 本機に転送



3 音楽を持ち出して 聞こう!

本機内蔵のフラッシュメモリーに保存されている音楽データは、Windowsのエクスプローラでも表示できます。ただし、Windowsのエクスプローラを使って本機のフラッシュメモリーにコピーしたMP3ファイルを、本機で再生することはできません。MP3ファイルを本機に転送するときは、必ずMP3 File Managerをお使いください。



Bluetooth機能搭載機器として

Bluetoothとは携帯電話やパソコンなどのBluetooth機能対応機器どうしをワイヤレス接続する技術です。本機にBluetooth機能が搭載されたことにより、ケーブルを使わずにBluetooth機能対応携帯電話と接続でき、本機でハンズフリー通話することができます。詳しい操作方は、51ページから58ページをご覧ください。

ご注意

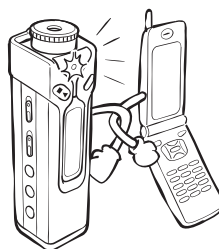
本機はすべてのBluetooth機能対応携帯電話とのワイヤレス接続を保証するものではありません。詳しくは、53ページをご覧ください。

1 本機をBluetooth機能対応携帯電話に登録する(ペアリング)

(本機で音楽再生中のときのみ登録(ペアリング)できます。)



2 接続(リンク)を確認する



本機のアクセスランプが青く点滅します。

3 ハンズフリーで通話する

(本機で音楽再生中のときのみハンズフリー通話できます。)



本機的主要な特長

- 小型軽量サイズで、振動にも強く、優れた携帯性。
- 本機にあらかじめインストールされているMP3 File Managerを使用して、MP3 ファイルを転送して再生。
- アルカリ乾電池で約100時間*¹の連続再生。
- 256MBの内蔵フラッシュメモリーに11時間40分以上*²の音楽データの記録が可能。
- 付属の専用ソフトウェアSonicStageを使って、音楽CDを高音質・高圧縮のATRAC3plus形式でパソコンのハードディスクに録音。
- 外国語の学習にも役立つセンテンスリピート機能。
- パソコンと本体は専用USBケーブルで接続、データを高速転送。
- 漢字も表示できるバックライト付き液晶ディスプレイ。
パソコンで入力した曲名などを漢字でも表示可能。
- アルバム単位で再生する曲を選べるグループ機能。
- Bluetooth機能を使用して、本機とBluetooth機能対応携帯電話をワイヤレス接続。本機で通話ができるハンズフリー機能。
- 音楽以外のデータも記録可能なストレージ機能。

*¹ 再生する曲のデータ形式により異なります。Bluetooth OFFの状態のときで、ATRAC3形式で記録された曲を再生した場合。

*² 記録時のビットレートにより異なります。ATRAC3plus形式で48kbpsで記録した場合。

ご注意

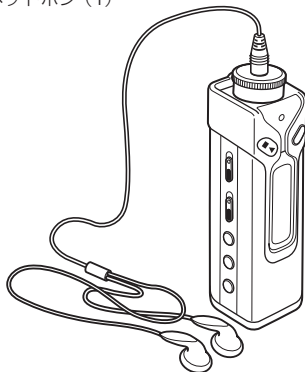
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品およびパソコンの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合および音楽データが破損または消去された場合、データの内容の補償については、ご容赦ください。

準備1：付属品を確かめる

箱から出したら、付属品がそろっているか確認してください。

XDM-S710BT

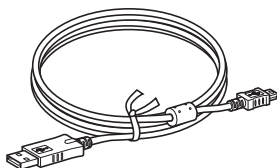
- ポータブルICオーディオプレーヤー本体 (1)
- ヘッドホン (1)



- キャリングケース* (1)
- キャリングケース用ストラップ* (1)
- ネックストラップ (1)
- ヘッドホン延長コード (1)
- CD-ROM (1)
- 取扱説明書 (1)
- ソフトウェアインストール・操作ガイド (1)
- 保証書 (1)
- アイワご相談窓口のご案内 (1)

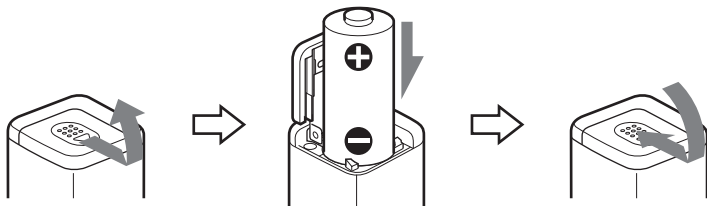
* キャリングケースのクリップでカバンなどにも装着することができます。その際は落下防止の為、付属のキャリングケース用ストラップをキャリングケースに取り付けてカバンの取っ手などに装着してください。

- 専用USB接続ケーブル (1)



準備2：電池を挿入する

単3形アルカリ乾電池1本を下図のように●側から入れてください。



電池の持続時間(連続再生時)

ATRAC3形式の場合：約100時間*¹

ATRAC3plus形式の場合：約90時間*¹

MP3形式の場合：約80時間*¹

*¹ Bluetooth OFFの状態のときの値です。また、周囲の温度や使用状態により、上記の持続時間は異なる場合があります。

Bluetooth ONの場合：約60時間*²

(ATRAC3 66kbps、連続再生時)

*² この値はBluetooth機能による通話などの使用環境により異なる場合があります。

電池残量の表示について



電池残量が再生できません。電池を交換してください。

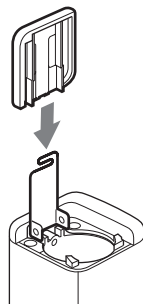
ご使用中、表示窓（15ページ）の電池残量表示でお知らせします。

「LOW BATT」と表示された場合は、新しいアルカリ電池に交換してください。

ご注意

- 本体の電源が入らないときは、一度乾電池を取り出し、しばらく時間を置いてから再度入れ直してください。
- 指定された種類以外の電池をご使用の場合、液もれの原因になります。次の事項を必ずお守りください。
 - アルカリ乾電池をお使いください。
 - 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れてください。
 - 充電しないでください。
 - 長期間使用しないときは、取り外してください。
 - 液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい電池を入れてください。

電池ぶたが外れた場合は、図のように取り付けてください。

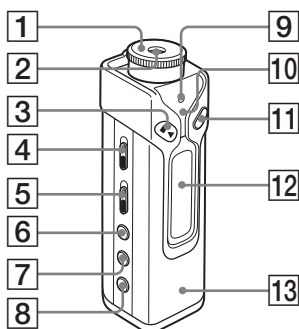


各部のなまえ

() 内のページに詳しい説明があります。

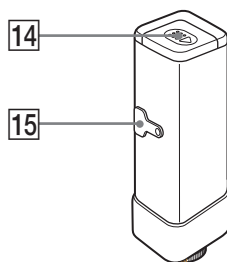
本体

表面

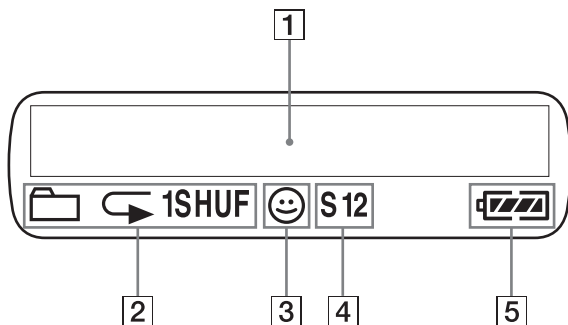


- 1** シャトルスイッチ(1<=</>=>1、VOL(音量)+/-)(18~24、26、28~35、55~58)
- 2** ヘッドホンジャック(18)
- 3** ▶■(再生/停止/トーク)ボタン(18~24、26、28~35、55~58)
- 4** HOLD (誤操作防止)スイッチ(27)
- 5** Bluetooth ON/OFFスイッチ(55、57、58)
- 6** SOUNDボタン(25)
- 7** GROUPボタン(19、25)
- 8** REPEATボタン(21~23)
- 9** マイク
- 10** アクセスランプ(16、47)
オレンジ色のランプが点滅します。
オペレーションランプ(55~58)
青色とオレンジ色のランプが点滅します。

裏面



- 11** MENUボタン(20、23~24、26、28~35、55~56、58)
- 12** 表示部(15、19、21、24)
- 13** Bluetoothアンテナ部
- 14** 電池挿入部(13)
- 15** 専用USBケーブル接続ジャック(16、47)



1 文字情報/グラフィック液晶表示窓
(21ページ)

曲番号やタイトルなどの表示や、時計表示
(28～29ページ)、エラー表示 (17、41～
42ページ)、メニュー表示などを表示しま
す。再生・停止中の表示内容はMENUボタ
ンで切り換えられます。

詳しくは、「表示モードを切り換える」
(24ページ) をご覧ください。

2 リピートモード表示 (20～21ページ)

現在のリピートモードのアイコンが表示さ
れます。

エーフィエルエス
3 AVLS 表示 (30ページ)

AVLS (音量リミット) が設定されている場
合に表示されます。

4 デジタルサウンドプリセット表示
(25ページ)

デジタルサウンドプリセットが設定されて
いる場合に表示されます。

5 電池残量表示 (13ページ)

現在の電池残量が表示されます。

パソコンから本機に音楽を転送する

ご注意

本機を初めてパソコンに接続するときは

接続前に、必ず付属のCD-ROMから「SonicStageソフトウェア」をパソコンにインストールしてください。すでにSonicStageがインストールされている場合でも、必ず付属の「SonicStageソフトウェア」をインストールしてから本機をパソコンに接続してください。（アップデートプログラムが入っている場合があります。）

ATRAC3、ATRAC3plusファイルはパソコンにインストールしたSonicStageを使い、下記の指示にしたがって本機に転送します。

MP3ファイルはあらかじめ本機にインストールされているMP3 File Managerを使って本機に転送します。詳しくは「MP3 File Managerを使う」（47ページ）をご覧ください。

1 付属のCD-ROMから「SonicStageソフトウェア」をパソコンにインストールする

手順1は、本機を初めてパソコンに接続するときのみ必要です。

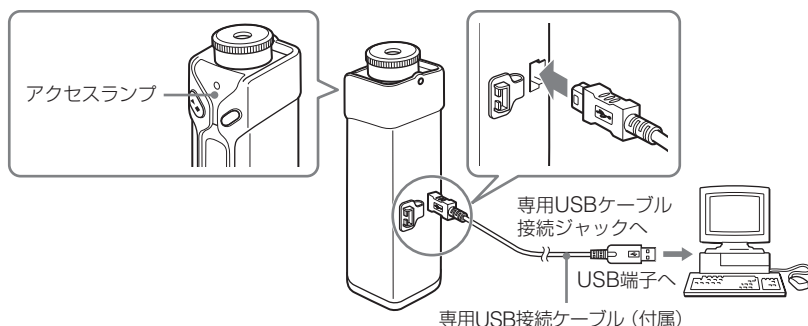
詳しくは別冊の「ソフトウェアインストール・操作ガイド」をご覧ください。

2 SonicStageに音楽データを取り込む

詳しくは別冊の「ソフトウェアインストール・操作ガイド」をご覧ください。

3 本機をパソコンに接続する

付属の専用USB接続ケーブルの小さいほうのコネクタ部分を本機の専用USBケーブル接続ジャックに、大きいほうのコネクタ部分をパソコンのUSB端子に差し込みます。本機の表示窓に「CONNECT」と表示されます。



ご注意

- 本機とパソコンのデータ転送中はアクセスランプがオレンジ色に点滅します。
- アクセスランプの点滅中はUSBケーブルを抜かないでください。転送中のデータが破壊されることがあります。
- USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証はいたしかねます。必ず、付属の専用USB接続ケーブルで接続してください。
- 同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- パソコンに接続しているときは、本体の操作はできません。
- パソコンに接続しているときは、内蔵フラッシュメモリーの内容がWindowsのエクスプローラでも表示できません。

4 本機に音楽データを転送する

本体内蔵フラッシュメモリーに音楽データを転送するときの操作方法は、別冊の「ソフトウェアインストール・操作ガイド」をご覧ください。

💡ヒント

転送した音楽データをパソコンに戻す方法についても、別冊の「ソフトウェアインストール・操作ガイド」もしくはSonicStageのオンラインヘルプをご覧ください。

再生期限付きの曲（タイムアウトコンテンツ）の再生について

インターネットの音楽配信サービス（EMDサービス）には、再生期限がついているものがあります。

期限切れ後にその曲を再生しようとすると、「EXPIRED」が点滅し、しばらくすると次の曲が再生されます。

再生期限が過ぎた曲は、SonicStage上でも再生はできません。また、本機への転送もできません。必要に応じて曲を削除してください。

回数制限付きの曲の再生について

本機は回数制限付きコンテンツに対応していません。

回数制限の権利が残っていた場合でも、「EXPIRED」が点滅し、本機での再生はできません。

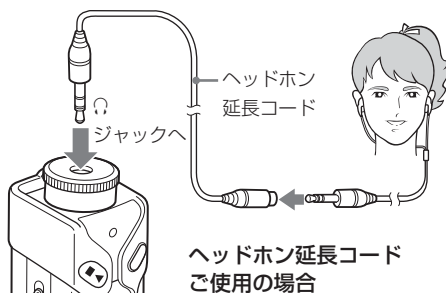
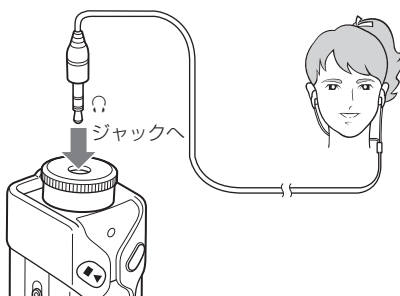
本機で音楽を聞く

あらかじめ本機に電池を入れておいてください（使用できる電池や挿入方法については13ページをご覧ください）。そして、音楽データを本機の内蔵フラッシュメモリーに転送しておきます。

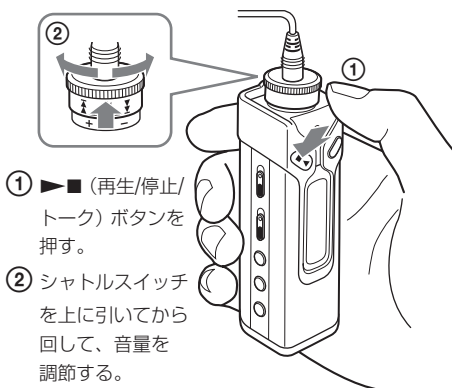
ご注意

本機を操作するときは、パソコンとの接続をはずしてください。

1 ヘッドホンを装着する



2 再生する



通常再生のときは、最後まで再生すると自動的に停止します。

再生が始まらないときは

ホールド
HOLD（誤操作防止）スイッチが解除されているのを確認してください。（27ページ）

再生を途中で止めるには

▶■（再生/停止/トーク）ボタンを押します。

音量を調節するには

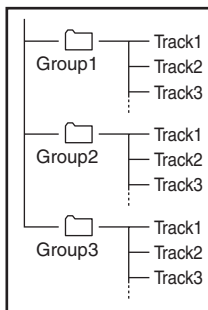
音量はプリセットとマニュアルで調整できます。（31～32ページ）

💡ヒント

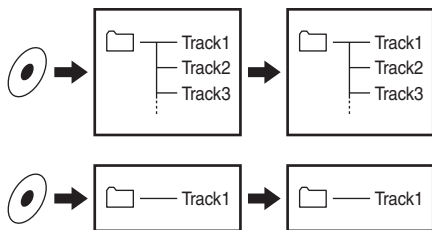
停止状態のまま5秒間操作がないと、自動的に表示が消えます。

グループ機能とは

グループ機能とは、本機で、聞きたい曲を素早く見つけるための機能です。転送される曲を、CDアルバム別や、アーティスト別などのグループにまとめて転送したり再生したりできます。



- 再生時の曲番は、グループ内での曲番が表示されます。
- GROUPボタンを押すと、曲名モードからグループモードの切り換えができます。
- グループモードでは、曲名ではなくグループ名が表示され、曲送りや曲のリピートなどの単位もグループ単位でおこなわれます。



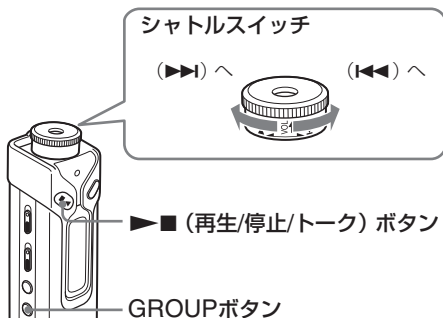
グループ単位での転送

SonicStageに取り込んだ音楽データは、1曲でも必ずグループをつくって、本機の内蔵フラッシュメモリーに転送されます。

ヒント

本機では、SonicStageで作成されたグループとMP3 File Managerで作成されたグループが存在する場合、SonicStageで作成されたグループを優先します。

その他の操作



こんなときは	シャトルスイッチ操作
次の曲の頭出し、または次のグループの最初の曲の頭出し* ¹	(▶▶)へ1回短く回す
再生中の曲の頭出し、または再生中のグループの最初の曲の頭出し* ¹	(◀◀)へ1回短く回す
早送り* ²	(▶▶)へ回し、止めたい場所です手をはなす
早戻し* ²	(◀◀)へ回し、止めたい場所です手をはなす

*¹ 停止中にシャトルスイッチを▶▶(◀◀)へ回した状態にしておくと、次の曲またはグループ(現在の曲またはグループ)、さらに次の曲またはグループ(前の曲またはグループ)を連続して頭出しできます。

*² 早送り/早戻しを開始してから5秒経過すると、早送り/早戻しの速度がより高速になります。

リピートモード

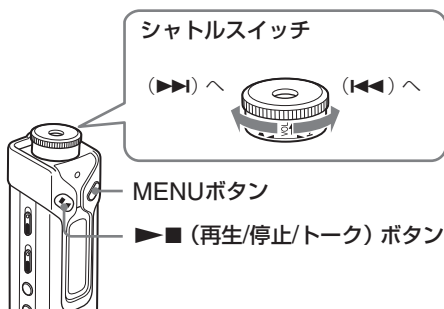
トラックリピート、A-Bリピート、センテンスリピートの3通りのリピートモードがあります。

- **トラックリピート (TRK Rep)**
曲を下記の5通りのリピートモードで再生できます。

トラックリピートモード	動作
全曲リピート	すべての曲が繰り返して再生されます。
1曲リピート	1曲が繰り返して再生されます。
グループリピート	グループ内の曲が繰り返して再生されます。
グループシャッフルリピート	グループ内の曲が順不同に繰り返し再生されます。
全グループシャッフルリピート	すべてのグループが順不同に繰り返し再生されます。グループ内の曲は、順序どおり再生されます。

- **A-Bリピート (A-B Rep)**
曲の一部を繰り返して再生します。
- **センテンスリピート (SENTENCE Rep)**
トラックの指定ポイントのボイスデータ(センテンス)を繰り返して再生します。

リピートモードを選択する



- 1 停止中にMENUボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。

REPEATMODE>

- 2 シャトルスイッチを回して「REPEAT MODE>」を選び、
▶■ (再生/停止/トーク) ボタンを押して決定する。

- 3 シャトルスイッチを回してお好みのリピートモードを選び、
▶■ (再生/停止/トーク) ボタンを押して決定する。

TRKRep

「TRK Rep」、「A-B Rep」、「SENTENCE Rep」の中からリピートモードを選ぶことができます。

- 4 MENUボタンを押す。

通常の停止画面に戻ります。
各リピートモードについて詳しくは下記をご覧ください。

- TRK Rep: 「曲を繰り返し再生する (トラックリピート)」
- A-B Rep: 「曲の一部を繰り返し再生する (A-B リピート)」
- SENTENCE Rep: 「トラックの指定ポイントのセンテンスを繰り返し再生する (センテンスリピート)」

途中でメニュー操作をやめるには

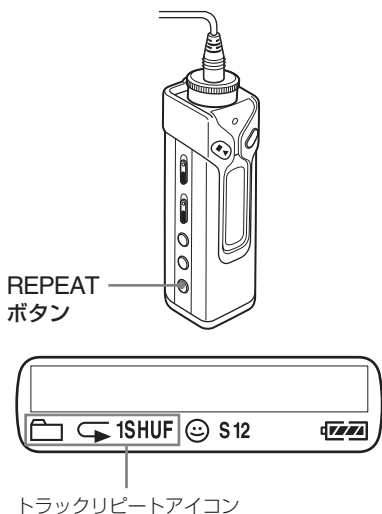
メニュー画面の [RETURN] を選ぶかMENUボタンを押します。

ご注意

- 60秒以上ボタン操作をしないと、通常の停止画面に戻ります。
- 曲が1曲も入っていない場合は、リピートモードの設定はできません。
- 本機をパソコンに接続すると、設定したリピートモードはキャンセルされます。
- 曲の再生中、リピートモードの設定はできません。

曲を繰り返し再生する (トラックリピート)

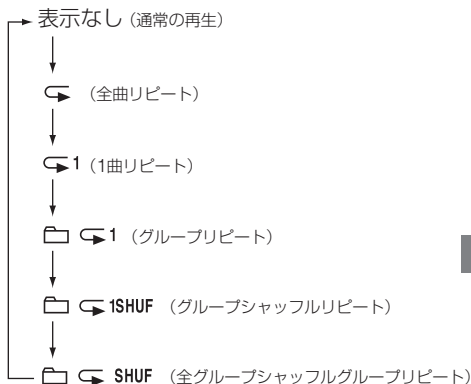
REPEATボタンを押すとトラックリピートモードの種類が切り換わります。表示窓に現在選択しているトラックリピートモードのアイコンが表示されます。



トラックリピートモード (TRK Rep) を選択する。(20ページ)

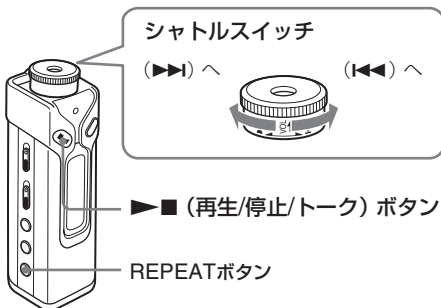
次に、REPEATボタンを繰り返し押し、設定したいリピートモードを選択する。

ボタンを押すごとに、トラックリピートアイコンが次のように換わります。



曲の一部を繰り返し再生する (A-Bリピート)

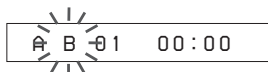
曲の再生中、繰り返し再生したい部分 (セクション) の開始ポイント (A) と終了ポイント (B) を設定できます。



1 A-Bリピートモード (A-B Rep) を選択する。(20ページ)

2 再生/停止/トークン ボタンを押して曲を再生する。

3 曲の再生中にREPEATボタンを押して開始ポイント (A) を決定する。
「B」が点滅します。



次ページへつづく

進んだ使いかた

リピートモード(つづき)

4 REPEATボタンを押して終了ポイント(B)を決定する。

「A B」が表示され、指定した部分(セクション)が繰り返し再生されます。

A B 01 00:55

ご注意

- 1曲を超える長さのセクションは設定できません。
- 終了ポイント(B)が設定されていない場合は、自動的に曲の最後が終了ポイント(B)になります。
- グループモード、または現在時刻が表示されているときは、A-Bリピートモードは使用できません。

ヒント

- 開始ポイント(A)の設定後、シャトルスイッチを回して、早送りや早戻しをすることができます。早送りで曲の最後まで来ると、曲の終わりが終了ポイント(B)として設定され、早送りが続きます。シャトルスイッチを離すとA-Bリピートが再開されます。また、早戻し中に曲の頭まで来ると、曲の最後へ移動し、曲の終わりが終了ポイント(B)として設定され、早戻しが続きます。
- A-Bリピートで再生中にシャトルスイッチを回すと、早送りや早戻しをすることができます。シャトルスイッチを離すとA-Bリピートが再開されます。

開始ポイント(A)や終了ポイント(B)を消すには

- A-Bリピート中にREPEATボタンを押す。
 - A-Bリピート中にMENUボタンを押す。
 - A-Bリピート中にGROUPボタンを押してグループモードを選ぶ。
 - A-Bリピート中にシャトルスイッチを回して次の/前の曲を選ぶ。
- (A-Bリピートモードは取り消されません。)

A-Bリピートモードを取り消すには

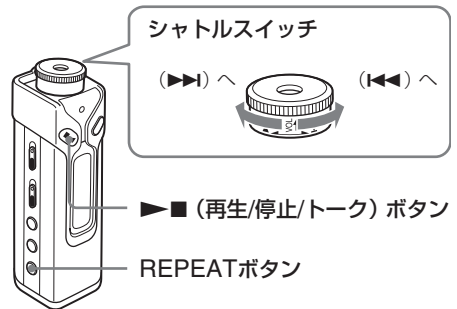
メニューモードに入り、リピートモードを変更します。(20ページ)

トラックの指定ポイントのセンテンスを繰り返し再生する(センテンスリピート)

指定ポイントからボイスデータ(センテンス)のみを自動的に検知し、設定回数を繰り返し再生します。外国語の学習に役立ちます。

ヒント

初期設定では、センテンスごとにリピート回数が2回に設定されています。リピート回数を変更するには、「リピート回数を設定する」(23ページ)をご覧ください。



1 センテンスリピートモード(SENTENCE Rep)を選択する。(20ページ)

2 ▶■(再生/停止/トーク)ボタンを押して曲を再生する。

3 曲の再生中にREPEATボタンを押して開始ポイントを指定する。

開始ポイントから検索が始まり、ボイスデータ(センテンス)がある部分とボイスデータ(センテンス)がない部分を検知すると、センテンスリピートが開始されます。ボイスデータ(センテンス)は、1回(検知中)+設定回数ぶん(22ページ)だけ繰り返されます。

01 00:12

ご注意

- グループモード、または現在時刻が表示されているときは、センテンスリピートモードは使用できません。
- ボイスデータ（センテンス）がある部分またはボイスデータ（センテンス）がない部分の長さが1秒以下の場合、検知されません。
- ボイスデータ（センテンス）がない部分がトラックの最後まで検索されなかった場合、トラックの最後が終了ポイントとみなされて、開始ポイントからトラックの最後まででセンテンスリピートが行われます。

指定ポイントを消すには

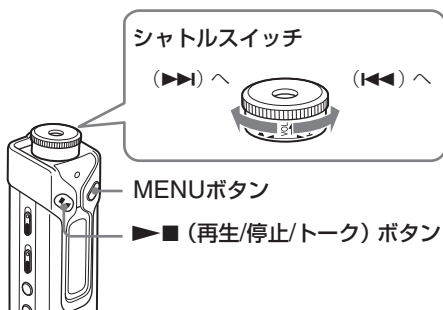
- センテンスリピート中にREPEATボタンを押す。
- センテンスリピート中にMENUボタンを押す。
- センテンスリピート中にGROUPボタンを押してグループモードを選ぶ。
- センテンスリピート中にシャトルスイッチを回して次の/前の曲を選ぶ。
(センテンスリピートモードは取り消されません。)

センテンスリピートモードを取り消すには

メニューモードに入り、リピートモードを変更します。(20ページ)

リピート回数を設定する

センテンスリピートモードのリピート回数は、1～9回まで設定できます。




- 1 停止中にMENUボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。

 REPEATMODE>

- 2 シャトルスイッチを回して「REPEAT MODE>」を選び、
▶■ (再生/停止/トーク) ボタンを押して決定する。

- 3 シャトルスイッチを回して「SENTENCE Rep」を選び、
▶■ (再生/停止/トーク) ボタンを押して決定する。
「COUNT:」が表示窓に表示されます。

 COUNT: 2

- 4 シャトルスイッチを回して好みの回数を選び、▶■ (再生/停止/トーク) ボタンを押して決定する。

- 5 MENUボタンを押す。
通常の再生画面に戻ります。

途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の [RETURN] を選ぶかMENUボタンを押します。

表示モードを切り換える

再生中または停止中に表示窓で曲番やタイトルなどの情報を確認できます。表示内容の切り換えは、メニューモードに入り、シャトルスイッチで操作します。

- Lap Time：曲時間表示モード
タイトル、アーティスト名を表示した後、次のように表示します。



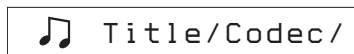
状態表示*

- * 再生中：♪と♪を交互に表示。
停止中：♪を表示。
連続頭出し中：▶▶または◀◀を表示。
早送り/早戻し中：▶▶または◀◀を表示。

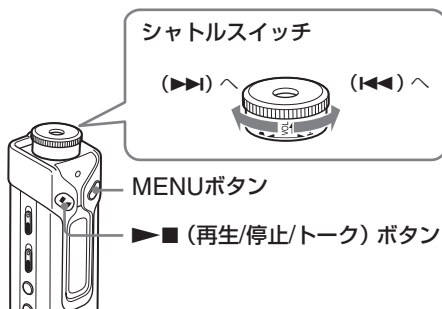
- Title：タイトル表示モード
タイトルとアーティスト名が表示されます。12文字を超える場合は、スクロールします。



- Track info：トラックインフォメーション表示モード
タイトル、コーデック、ビットレートが表示されます。12文字を超える場合は、スクロールします。



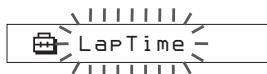
早送り/早戻し中および連続頭出し中は現在の位置を表す表示が出ます。



- 1 MENUボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。



- 2 シャトルスイッチを回して「DISPLAY>」を選び、▶■(再生/停止/トーク)ボタンを押して決定する。
設定されている表示モードが点滅表示されます。



- 3 シャトルスイッチを回して好みの表示モードを選び、▶■(再生/停止/トーク)ボタンを押して決定する。
表示モードメニューに切り換わります。



- 4 MENUボタンを押す。
通常の再生画面に戻ります。

途中でメニュー操作をやめるには

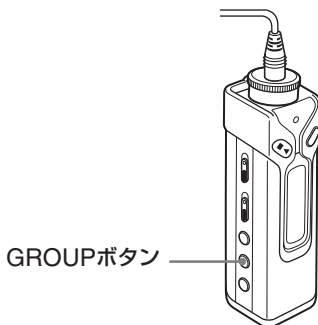
メニュー画面の[RETURN]を選ぶか、MENUボタンを押します。

ご注意

60秒以上ボタン操作をしないと、通常の再生画面に戻ります。

グループ表示を見るには

GROUPボタンを押すと、グループ表示を見ることができます。



グループ表示をやめるには

GROUPボタンを押します。

💡ヒント

グループモードのときは、バックライトが緑色になり、その他のモードのときは、バックライトが青になります。(バックライトの設定が「ON」のとき(33ページ))

ご注意

再生中に30秒以上ボタン操作をしないと、通常の再生画面に戻ります。

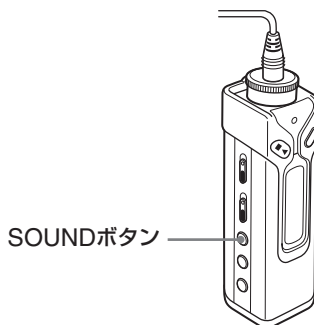
高音や低音を強調する (デジタルサウンドプリ セット)

高音や低音を強調してあらかじめお好みの音質を設定できます。2種類の音質設定を記憶させることができ、再生中に設定を選べます。

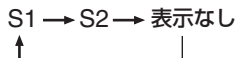
音質を選ぶ

お買い上げ時の設定

音質	SOUND 1 (S1)	SOUND 2 (S2)	SOUND OFF (通常の音質)
Bass (低音)	+1	+3	±0
Treble (高音)	±0	±0	±0



SOUNDボタンを繰り返し押して
「S1」または「S2」を選ぶ。



通常の音質に戻すには

「SOUND OFF」を選びます。

次ページへつづく

進んだ使いかた

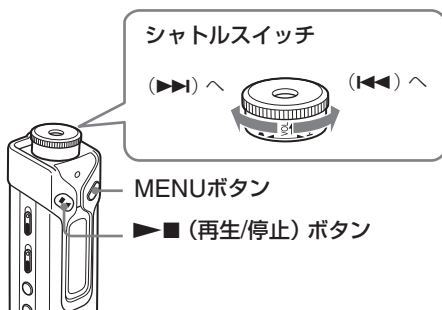
高音や低音を強調する (デジタルサウンドプリセット) (つづき)

音質を変える

Treble (高音) とBass (低音) の2つの音質調整ができます。

音質	数値の設定
Bass (低音)	-4 から+3
Treble (高音)	-4 から+3

「SOUND 1」、「SOUND 2」にお好みの設定を記憶できます。音楽データの再生時に、記憶させた設定で楽しめます。



1 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

📁 REPEATMODE>

2 シャトルスイッチを回して「SOUND>」を選び、▶■ (再生/停止/トーク) ボタンを押して決定する。

📁 SOUND: 2>

3 「SOUND 1」の音質を設定する。

- ① シャトルスイッチを回して「SOUND 1>」を選び、▶■ (再生/停止/トーク) ボタンを押して決定する。
- ② 「BASS : +1」と表示されたら、シャトルスイッチを回し、Bassの値を選び、▶■ (再生/停止/トーク) ボタンを押して決定する。
- ③ 「TREBLE : 0」と表示されたら、シャトルスイッチを回し、Trebleの値を選び、▶■ (再生/停止/トーク) ボタンを押して決定する。

4 MENUボタンを押す。

通常の再生画面に戻ります。

「SOUND 2」の設定を変えるには

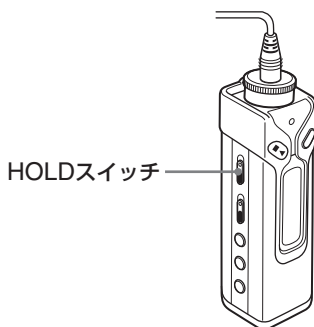
手順3の①で「SOUND 2>」を選びます。

途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の「RETURN」を選ぶか、MENUボタンを押します。

誤操作を防ぐ (HOLD)

カバンに入れて使うときなどに、誤ってボタンが押されて動作するのを防ぎます。



HOLDスイッチを ➡ の方向にずらす。

Bluetooth ON/OFFスイッチ以外の、すべての操作ボタンが動かなくなります。

ホールド中に他のボタンを押すと、「HOLD」と点滅表示されます。

ホールドを解除するには

HOLDスイッチを ➡ の逆方向にずらします。

💡 ヒント

HOLD機能が働いていても、携帯電話着信時は

▶■（再生/停止/トーク）ボタンのみ使用することができます。ただし、通話終了後音楽の再生が再開されると、▶■（再生/停止/トーク）ボタンは使用できなくなります。（57, 58ページ）

音楽以外の情報を 持ち運ぶ

パソコンのハードディスク内のデータをWindowsのエクスプローラを使って、本機内蔵フラッシュメモリーに取り込むことができます。

Windowsのエクスプローラの外部ドライブ（Dドライブなど）として、本機内蔵フラッシュメモリーが表示されます。

ご注意

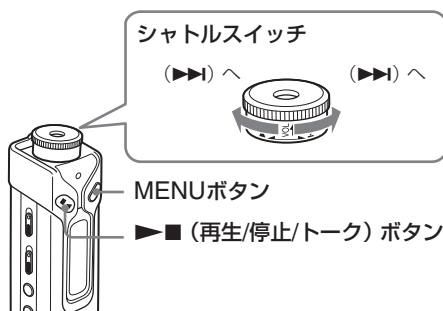
- 本機のデータストレージ機能を使って本機内蔵フラッシュメモリーのファイルを操作している間、SonicStagerは使用できません。
- 本機内蔵フラッシュメモリー内に音楽以外の大容量データが入っている場合、音楽データを取り込むための空き容量はその分減ります。

パソコンの内蔵時計に 本体の時計を合わせる

設定を「ON」にしていると、本機をパソコンに接続して、データ転送が行われたときに SonicStage からパソコンの内蔵時計に合わせて自動で本機の時計の設定ができます。初期設定は「ON」になっています。

再生期限付きの曲の場合、本機の時計設定をしていないと再生できませんので、必ず現在時刻を設定してください。

ポータブルICオーディオプレーヤー本体で時刻を設定するには「現在時刻を設定する (DATE-TIME)」(29ページ) をご覧ください。



設定を「OFF」にする

パソコンに接続してもパソコンの内蔵時計に合わせないようにします。

1 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

 REPEATMODE>

2 シャトルスイッチを回して 「PC CLK : 」を選び、▶■ (再生/停止/トーク) ボタンを押して 決定する。

 PC CLK: ON

3 シャトルスイッチを回して 「OFF」を選び、▶■ (再生/停止/トーク) ボタンを押して決定 する。

4 MENUボタンを押す。 通常の画面に戻ります。

設定を「ON」にするには

手順3で「ON」を選びます。

途中でメニュー操作をやめるには

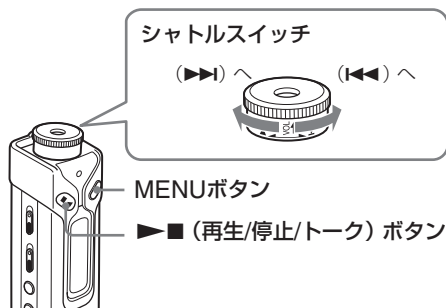
メニュー画面の [RETURN] を選ぶか、MENU ボタンを押します。

現在時刻を設定する (DATE-TIME)

本体の現在時刻を設定し、時計を表示させることができます。

パソコンに接続して自動でパソコンの時刻情報を本機に設定することもできます。

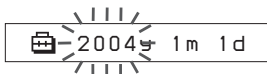
(28ページ)



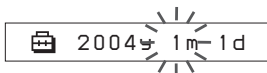
- 1 MENUボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。



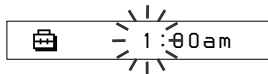
- 2 シャトルスイッチを回して「DATE-TIME」を選び、▶■ (再生/停止/トーク) ボタンを押して決定する。
「年」の数字が点滅します。



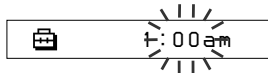
- 3 シャトルスイッチを回して「年」の数字を合わせ、▶■ (再生/停止/トーク) ボタンを押して決定する。
「月」の数字が点滅します。



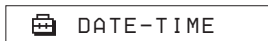
- 4 手順3で「年」を入力したのと同様に「月」と「日」の数字を入力する。
シャトルスイッチを回して「日」を合わせ、▶■ (再生/停止/トーク) ボタンを押して決定すると、時刻設定表示画面に変わります。



- 5 シャトルスイッチを回して「時」の数字を合わせ、▶■ (再生/停止/トーク) ボタンを押して決定する。
「分」の数字が点滅します。



- 6 手順5で「時」を入力したのと同様に「分」を入力する。
シャトルスイッチを回して「分」を合わせ、▶■ (再生/停止/トーク) ボタンを押して決定します。



- 7 MENUボタンを押す。
通常の画面に戻ります。

途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の[RETURN]を選ぶか、MENUボタンを押します。

時計を表示させるには

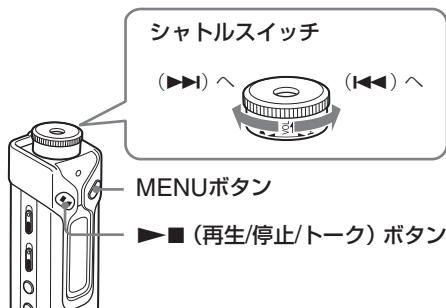
MENUボタンを押し続けます。
押している間だけ現在時刻が表示されます。

ご注意

- 本機を使用しないまま長期間放置すると、設定した日時がリセットされてしまいますのでご注意ください。
- 時刻が設定されていないときは、年月日、時刻とも「-- --」が表示されます。
- PC CLKを「ON」に設定していると (28ページ) パソコン接続時に自動的にパソコンの内蔵時刻に書きかわってしまいます。

音もれを抑える (音量リミット-AVLS)

音量の上げすぎによる音もれや、耳への圧迫感、周囲の音が聞こえないことへの危険を少なくし、より快適な音量で聞くことができます。



設定を「OFF」にするには

手順3で「OFF」を選びます。

途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の [RETURN] を選ぶかMENUボタンを押します。

- 1 MENUボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。

 REPEATMODE>

- 2 シャトルスイッチを回して
「AVLS」を選び、▶■ (再生/停止/トーク) ボタンを押して決定する。
「OFF」が点滅します。

 AVLS 

- 3 シャトルスイッチを回して
「ON」を選び、▶■ (再生/停止/トーク) ボタンを押して決定する。
表示窓に ☺ が表示されます。この設定により、音量が一定のレベル以上、上がらなくなります。

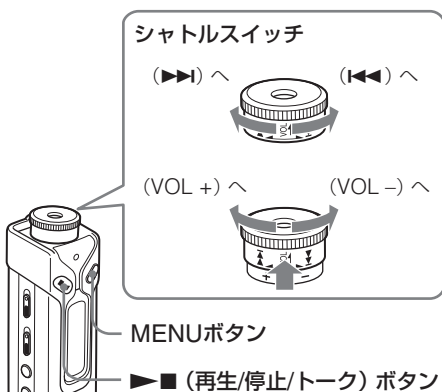
- 4 MENUボタンを押す。
通常の画面に戻ります。

お好みの音量を設定する (プリセットボリューム)

音量調節には2つのモードがあります。

マニュアルモード：シャトルスイッチを上
に引いてから回すと32段
階で連続して音量が変わ
ります。

プリセットモード：シャトルスイッチを回す
とあらかじめ設定してお
いたLO、MID、HIの3
段階に切り換わります。



プリセットモードの音量を設定する

- 1** MENUボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。



- 2** シャトルスイッチを回して
「VOL : MAN」を表示させる。



- 3** ▶■ (再生/停止/トーク) ボタン
を押して決定する。
「MAN」が点滅します。

- 4** シャトルスイッチを回して
「SET>」を表示させる。



- 5** ▶■ (再生/停止/トーク) ボタン
を押して決定する。
「VOL LO xx」*が点滅します。

* xxは数値



- 6** LO、MID、HIの各値を設定する。

- ① シャトルスイッチを上
に引いてから
回してLOの値を設定する。
- ② シャトルスイッチを元の位置に
戻してから回して「VOL MID xx」を
表示させ、シャトルスイッチを上
に引いてから回してMIDの値を設定
する。
- ③ シャトルスイッチを元の位置に
戻してから回して「VOL HI xx」を
表示させ、シャトルスイッチを上
に引いてから回してHIの値を設定する。

- 7** ▶■ (再生/停止/トーク) ボタン
を押して決定する。

- 8** MENUボタンを押す。
通常の画面に戻ります。
この設定によりボリュームがLO、
MID、HIの3段階に調節できるよう
になります。

途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の「RETURN」を選ぶか、MENU
ボタンを押します。

ご注意

- AVLS (30ページ) が設定されているときは設定
した値よりも音量が低くなる場合があります。
- AVLSを解除 (OFF) すると設定した値の音量に
なります。

好みの音量を設定する (プリセットボリューム) (つづき)

マニュアルモードに戻すには

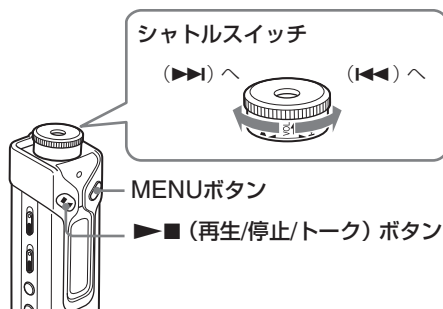
- 1 MENUボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。
- 2 シャトルスイッチを回して
「VOL : SET」を表示させる。

- 3 ►■ (再生/停止/トーク) ボタン
を押して決定する。
「SET>」が点滅します。
- 4 シャトルスイッチを回して
「MAN」を表示させる。

- 5 ►■ (再生/停止/トーク) ボタン
を押して決定する。
- 6 MENUボタンを押す。
通常の画面に戻ります。
この設定によりシャトルスイッチによる
手動の音量調節ができるようになります。

ピッという確認音を鳴らさないようにする (BEEP)

本体の確認音を消すことができます。



- 1 MENUボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。

- 2 シャトルスイッチを回して
「BEEP :」を選び、►■ (再生/
停止/トーク) ボタンを押して決
定する。
「ON」が点滅します。

- 3 シャトルスイッチを回して
「OFF」を選び、►■ (再生/
停止/トーク) ボタンを押して決定
する。

- 4 MENUボタンを押す。
通常の画面に戻ります。

確認音が鳴るようにするには

手順3で「ON」を選びます。

途中でメニュー操作をやめるには

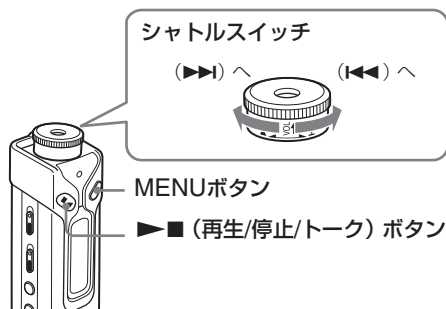
メニュー画面の「RETURN」を選ぶか、MENU
ボタンを押します。

液晶バックライトの点灯のしかたを変える

ONまたはOFFから選べます。

メニュー設定 液晶バックライトの状態

OFF	常に消灯
ON	ボタン操作後、3秒間点灯（またはスクロール終了まで点灯）



設定を「ON」にする

- 1 MENUボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。



- 2 シャトルスイッチを回して「LIGHT :」を選び、再生/停止/トーク ボタンを押して決定する。
「OFF」が点滅します。



- 3 シャトルスイッチを回して「ON」を選び、再生/停止/トーク ボタンを押して決定する。



- 4 MENUボタンを押す。
通常の画面に戻ります。

設定を「OFF」にするには

手順3で「LIGHT:OFF」を選びます。

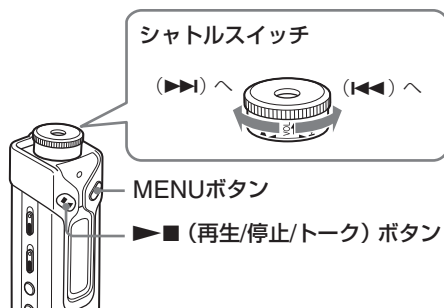
途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の「RETURN」を選ぶか、MENUボタンを押します。

音楽データを再グループ化する (REGROUP)

SonicStageをインストールした(16ページ) パソコン以外で内蔵フラッシュメモリーの音楽データの一部を消去または追加して本機でお使いになる場合、音楽データがグループとして機能しなくなることがあります*。再グループ化の操作をすると、グループ機能を元に戻せる場合があります。必要な編集はパソコンについでSonicStage上でおこなってください。

* 音楽データがグループのくくりからはずれても、曲順は変わりません。



- 1 MENUボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。

REPEATMODE>

- 2 シャトルスイッチを回して「REGROUP」を選び、▶■ (再生/停止/トーク) ボタンを押して決定する。

REGROUP: N

再生中はこの機能を選択できません。

- 3 シャトルスイッチを回して「Y」を選び、▶■ (再生/停止/トーク) ボタンを押して決定する。「Really?」と表示されます。

Really?

- 4 ▶■ (再生/停止/トーク) ボタンを押して決定する。

再グループ化が実行されます。実行中は「REGROUPING」が点滅します。再グループ化が終了すると「COMPLETE」と表示され、手順2の画面に戻ります。

- 5 MENUボタンを押す。
通常の画面に戻ります。

途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の「RETURN」を選ぶか、MENUボタンを押します。

ご注意

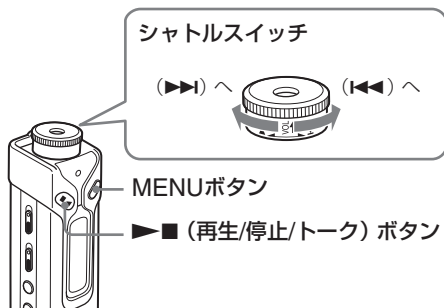
再生中は再グループ化できません(メニュー画面に「REGROUP」が表示されません)。

💡 ヒント

再グループ化しても、元のグループに戻らない場合もあります。編集が必要な場合は、本機をパソコンについでSonicStage上で編集してください。

メモリーを初期化する (FORMAT)

本機で内蔵フラッシュメモリーをフォーマット（初期化）することができます。フォーマットすると、記録されたデータはすべて消去されます。フォーマットする前に内容を確認してください。



1 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。



2 シャトルスイッチを回して「FORMAT」を選び、▶■（再生/停止/トーク）ボタンを押して決定する。



再生中はこの機能を選択できません。

3 シャトルスイッチを回して「Y」を選び、▶■（再生/停止/トーク）ボタンを押して決定する。

「Really ?」と表示されます。

4 ▶■（再生/停止/トーク）ボタンを押す。

「FORMATTING」が点滅表示され、初期化が始まります。

初期化が終了すると「COMPLETE」と表示され、手順2の画面に戻ります。

5 MENUボタンを押す。

通常の画面に戻ります。

途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の「RETURN」を選ぶか、MENUボタンを押します。

フォーマット（初期化）するのをやめるには
手順3で「N」を選びます。

ご注意

- 再生中は初期化できません。
（メニュー画面に「FORMAT」が表示されません。）
- メモリの初期化を行うと、本機にインストールされているMP3 File ManagerとMP3ファイルもすべて消去されます。MP3 File Managerを消去してしまった場合、付属のCD-ROMからコピーするか、アイワのオフィシャルホームページからダウンロードして復元することができます。詳しくは、47ページの「MP3 File Managerを使う」をご覧ください。

使用上のご注意

ご注意

置き場所について

次のような場所には置かないでください。

- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く
- 窓を閉めきった自動車内（とくに夏季）
- 風呂場など、湿気が多いところ
- ほこりが多いところ
- 磁石、スピーカーボックス、テレビなど
磁気を帯びたものの近く

ヘッドホンについて

付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはお客様ご相談センターに相談してください。

お手入れについて

表面のお手入れについて

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で拭いた後、からぶきします。

ヘッドホンプラグのお手入れについて

ヘッドホンプラグが汚れていると雑音や音飛びの原因になることがあります。常により音でお聞きいただくために、ヘッドホンの先端のプラグ部をときどき柔らかい布でからぶきしてください。

ご注意

シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面をいためますので、使わないでください。

万一故障した場合は、内部を開けずに、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターにご相談ください。

故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度お調べください。それでも解決しない場合、ご不明な点は、裏表紙に記載のお問い合わせ窓口までお問い合わせください。
パソコンとの接続については、付属ソフトウェアのオンラインヘルプもご覧ください。

リセットするには

下記のチェックをしても正常に動作しないとき、音が出ないときは、本体の電池を取り外して、再度挿入してください。

こんなときは

本体の操作について

症状	原因/処置
再生音が出ない 雑音が入る	<ul style="list-style-type: none">● 音量がゼロになっている → 音量を上げてください。(18ページ)● ヘッドホンがしっかり差し込まれていない → Ω (ヘッドホン) ジャックにしっかり差し込んでください。(18ページ)● ヘッドホンのプラグが汚れている → 乾いた布でプラグの汚れをふきとってください。● 再生期限のついた曲を再生している → 再生期限の切れた曲は、再生できません。(17ページ)● 曲が入っていない → 「NO DATA」と表示されているときは、パソコンから音楽データを転送してください。
ボタン操作に反応しない	<ul style="list-style-type: none">● HOLDスイッチがONになっている → HOLDスイッチをOFFにしてください。(27ページ)● 結露している → そのまま約2、3時間おいてください。● 電池の残量が少ない → 電池を交換してください。(13ページ)
再生音が大きくなる	AVLSが設定されている → AVLS設定を解除してください。(30ページ)
右チャンネルから音が出ない	<ul style="list-style-type: none">● ヘッドホンが正しく差し込まれていない → ヘッドホンプラグを奥まで差し込んでください。(18ページ)● ヘッドホン延長コードが本機の Ω (ヘッドホン) ジャックまたはヘッドホンコードに正しく接続されていない。 → ヘッドホン延長コードを本機の Ω (ヘッドホン) ジャックまたはヘッドホンコードにしっかり差し込んでください。(18ページ)
再生していたら急に音が止まった	電池が消耗している → 電池を交換してください。(13ページ)

その他

次ページへつづく

故障かな?と思ったら(つづき)

表示窓について

症状	原因/処置
表示窓のバックライトがつかない	LIGHTが「OFF」の設定になっている → メニューで「LIGHT」を「ON」に設定してください。(33ページ)
タイトル欄に「□」と表示される	本機で表示できない文字が使用されている → 付属のSonicStageソフトウェアを使って本機で表示可能な別の文字に置き換えてください。

パソコンとの接続や付属ソフトウェアについて

症状	原因/処置
インストールできない	対応のOS以外のOSを使っている → 詳しくは 別冊の「ソフトウェアインストール・操作ガイド」をご覧ください。
専用USB接続ケーブルでパソコンにつないでも、本機の表示窓に「CONNECT」と表示されない	<ul style="list-style-type: none">● SonicStageの認証を行うために、時間がかかる場合があります。しばらくお待ちください。● パソコン上で他のアプリケーションが起動している → しばらくしてから、専用USB接続ケーブルを接続し直してください。それでも解決しない場合は、ケーブルを抜いてからパソコンを再起動してください。● 専用USB接続ケーブルが抜けている → 専用USB接続ケーブルを差し直してください。● USBハブを使用している → 動作の保証外です。パソコンのUSB端子に接続してください。
パソコンに接続したとき、本機がパソコンに認識されない	<ul style="list-style-type: none">● 専用USB接続ケーブルが抜けている → 専用USB接続ケーブルを差し直してください。● 本機用のドライバをインストールしていない → 本機用のドライバをインストールしてください。本機用のドライバは付属のCD-ROMより「SonicStageソフトウェア」をパソコンにインストールすると自動的にインストールされます。(16ページ)
転送できない	<ul style="list-style-type: none">● 専用USB接続ケーブルがきちんと差し込まれていない → 専用USB接続ケーブルをいったん抜いて、差し直してください。● 1つの曲をすでに3回転送している → 一度転送した曲をパソコンに戻すと、再び転送できるようになります。● 内蔵フラッシュメモリーの残り容量が不足している → 間がなくなった曲をパソコンに戻して、空き容量を増やしてください。● SonicStageを使って、内蔵フラッシュメモリーに401曲以上または401グループ以上転送しようとしている → 内蔵フラッシュメモリーに転送できる曲数は、最大で400曲、グループは最大で400グループです。

症状	原因/処置
転送できない	<ul style="list-style-type: none"> MP3 File Managerを使って、内蔵フラッシュメモリーに40,001曲以上、または401グループ以上転送しようとしている。 → 内蔵フラッシュメモリーに転送できるMP3ファイルの曲数は、最大で40,000曲、グループは最大で400グループです。(ひとつのグループに収められる曲数は、最大で100曲です。) 再生期間や再生回数などの再生制限のついた曲は、著作権者の意向により本機に転送できないことがあります。それぞれの曲に関する設定内容については、配信者にお尋ねください。
転送できる曲数が少ない (録音できる時間が短い)	<ul style="list-style-type: none"> 本機内の空き容量が、転送しようとした曲の容量よりも少なくなっている → 聞かなくなった曲をパソコンに戻して、空き容量を増やしてください。 内蔵フラッシュメモリーに音楽以外のデータが入っている → 内蔵フラッシュメモリー内に音楽以外のデータが入っている分、転送できる曲数は減ります。音楽以外のデータをパソコンに移動するなどして、使用できるデータの容量を増やしてください。
パソコンに戻せない	<ul style="list-style-type: none"> 転送したパソコンと異なるパソコンに曲を戻そうとしている → 転送元のパソコン以外には、曲を戻せません。 転送元の曲を削除した → パソコン側の転送元の曲を削除した場合は、曲を戻せません。その曲が本機でも不要の場合は削除してください。
本機をパソコンにつなぐと勝手に曲が戻ることがある	SonicStageソフトウェアをインストールした他のパソコンで本機の曲を削除してしまった場合、自分のパソコンに本機をつなぐと、SonicStageは削除された曲を戻したものと自動的にみなし、残り転送回数を元に戻します。
接続中の動作が不安定	USBハブ、またはUSB延長ケーブルを使用している → 動作の保証はできません。付属の専用USB接続ケーブルのみで直接パソコンと接続してください。
パソコンと接続中にパソコンの画面に「機器・メディアの認証処理に失敗しました。」と表示される	パソコンと本機が正しく接続されていない → SonicStageを終了し、付属の専用USB接続ケーブルでの接続を確認した後、再度SonicStageを起動して操作してください。

Bluetooth機能について

症状	原因/処置
携帯電話に登録（ペアリング）できない。	接続している環境が原因と考えられます。 → 時間を置いてから再度行るか、場所を変えて行ってください。
携帯電話と接続（リンク）を張れない。	→ 携帯電話の電源が切れていないか確認してください。

その他

症状	原因/処置
操作時の確認音が鳴らない	BEEPの設定が「OFF」になっている → メニューで「BEEP」を「ON」にしてください。(32ページ)
本体が温かくなる	使用中に本体が一時的に温かくなることがあります。

こんな表示が出たら

本体表示窓にエラー表示が出たら、下の表に従ってチェックしてみてください。

表示	意味	処置
ACCESS	内蔵フラッシュメモリーにアクセス中	アクセスが終わるまでお待ちください。内蔵フラッシュメモリーへデータを転送しているときに表示されます。
AVLS	AVLS設定時に、音量が規定値を超えている。	音量を下げるか、またはAVLS設定を解除してください。(30ページ)
CANNOT PLAY	<ul style="list-style-type: none"> 本機では再生できないファイル形式である。 転送の途中で転送を強制中断した。 	再生できないデータがある場合は、内蔵フラッシュメモリーから削除することができます。詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」(42ページ)をご覧ください。
COM ERROR	本機内部のエラーにより、Bluetooth通信に不具合が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> 再度操作をするか、BluetoothスイッチをOFF/ONしてください。 電池を抜き差しする。
CONNECT	本機がパソコンと接続されている。	エラーではありません。SonicStageを使って曲を転送したり、戻したりできます。ただし、本機を操作することはできません。
ERROR	本機の異常が認識された。	本機をソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターにお持ちください。
EXPIRED	<ul style="list-style-type: none"> 再生期限付きの音楽データを有効期限内に再生しようとしている。 再生期限付きの音楽データを再生しようとしているが、本機の時計設定がされていない。 本機で対応していない回数制限付きの音楽データを再生しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 時計設定をしていない場合は、本機のメニューで日時設定を行ってください。(29ページ) 再生できないデータがある場合は、内蔵フラッシュメモリーから削除することができます。詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」(42ページ)をご覧ください。 本機は回数制限付きコンテンツに対応しておりません。詳しくは「回数制限付きの曲の再生について」(17ページ)をご覧ください。
FILE ERROR	<ul style="list-style-type: none"> データを読み込めない。 データが異常である。 	「FILE ERROR」となった曲を削除してください。詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」(42ページ)をご覧ください。
HOLD	HOLDスイッチがONになっているため、本機の操作ができない。	本機の実操作を行う場合は、HOLDスイッチをOFFにしてください。(27ページ)
LOW BATT	電池が消耗している。	電池を交換してください。(13ページ)
MEMORY FULL	メモリーが一杯か、グループが一杯(400グループ)です。	曲の削除を行うか、グループの削除を行ってください。曲の入ってないグループも、1グループとしてカウントされます。空のグループの削除は、SonicStageから行ってください。

表示	意味	処置
MG ERROR	著作権に対して不正なファイルを検出した。	まず、データをパソコンに戻してから、本機で内蔵フラッシュメモリーをフォーマット（初期化）してください。詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」をご覧ください。
NO DATA	内蔵フラッシュメモリーに音楽データが入っていない。	音楽データが入っていない場合は、付属のSonicStageソフトウェアを使って音楽データを転送してください。
NO DEVICE	ペアリングまたはリンクのとき、携帯電話と通信できなかった。	接続している環境が原因と考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 時間を置いてから再度行うか、場所を変えて行ってください。 ● 携帯電話の電源が切れていないか確認してください。
NOT FOUND	音声ダイヤルで発信・発信した音声、携帯電話に登録された音声タグと合致しない。	ダイヤリングを再度行ってください（58ページ）。

内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには

「CANNOT PLAY」、「FILE ERROR」、「EXPIRED」が表示された時は、内蔵フラッシュメモリーの一部または全てのデータに異常があります。

その場合は、以下の方法で再生できないデータを削除してください。

- ① 本機をパソコンに接続し、SonicStageを起動させる。
- ② データの異常の原因がはっきり分かっている場合（再生期限の過ぎたデータ等）は、SonicStageで削除する。
- ③ それでも解決しない場合は、パソコンに接続した状態で、SonicStageを使って、パソコンに戻すことの可能な曲は全てパソコンに戻す。
- ④ パソコンからはずして、本機のFORMATメニューの操作で内蔵フラッシュメモリーをフォーマット（初期化）する。（35ページ）

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店または添付の「アイワご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターにご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではポータブルICオーディオプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターにご相談ください。

主な仕様

最大録音時間

ATRAC3*1

約4時間10分 (132kbps)

約5時間20分 (105kbps)

約8時間30分 (66kbps)

ATRAC3plus*1

約2時間 (256kbps)

約8時間40分 (64kbps)

約11時間40分 (48kbps)

MP3

約2時間 (256 kbps)

約4時間 (128 kbps)

*1 ATRAC3、ATRAC3plusの最大録音時間は、本機にプリインストールされているMP3 File Managerを消去した場合の時間を表しています。

サンプリング周波数特性

ATRAC3、ATRAC3plus、

MP3:44.1kHz

再生信号圧縮方式 アダプティブトランスフォームアコースティックコーディング3 (ATRAC3)、アダプティブトランスフォームアコースティックコーディング3plus (ATRAC3plus)

MPEG1 オーディオレイヤー3 (MP3) : 8~320 kbps、可変ビットレート (VBR) 対応

周波数特性 20~20,000Hz (再生時、単信号測定)

Bluetooth

バージョン 標準規格Ver.1.2 (Class 2) 準拠

サポートプロファイル

Headset Profile (ヘッドセットプロファイル)

Hands-Free Profile (ハンズフリープロファイル)

出力端子 ヘッドホン：ステレオミニジャック

S/N比 80dB以上 (ATRAC3 66kbpsを除く)

ダイナミックレンジ 85dB以上 (ATRAC3 66kbpsを除く)

動作温度 5~35℃

電源 単3形アルカリ乾電池 1本

電池持続時間 (連続再生時) ATRAC3形式の場合：約100時間*2
ATRAC3plus形式の場合：約90時間*2
MP3形式の場合：約80時間*2

*2 Bluetooth OFFの状態のときの値です。この値は周囲の温度や使用状態により異なる場合があります。

Bluetooth ONの場合：約60時間*3
(ATRAC3 66 kbps、連続再生時)

*3 この値はBluetooth機能による通話などの使用環境により異なる場合があります。

最大外形寸法 88.6x24.3x24.6mm (幅/高さ/奥行き、最大突起部を含みます)

質量 約37g (電池含まず)

付属品

ヘッドホン (1)

専用USB接続ケーブル (1)

キャリングケース (1)

キャリングケース用ストラップ (1)

ネックストラップ (1)

ヘッドホン延長コード (1)

CD-ROM (1)

取扱説明書 (1)

ソフトウェアインストール・操作ガイド (1)

保証書 (1)

アイワで相談窓口のご案内 (1)

●ドルビー・ラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

用語解説

マジックゲート

MagicGate

データの暗号化と、相互認証の2つの技術により著作権を保護する技術。デジタル音楽データの不正なコピーや再生を防ぎます。マジックゲート対応機器とメディアの両方にマジックゲートが搭載されている場合のみ働きます。

マジックゲート対応機器とメディアの間で、お互いに「マジックゲートに対応しているか」を確認（認証）し、確認できた場合のみデータを記録できます。データは記録時に暗号化されます。記録されたデータを再生するときも同様に、マジックゲート対応機器とメディアが相互に確認し、確認された場合のみ再生できます。

ご注意

MAGIC GATE は、ソニーが考案する著作権保護の仕組みを表す名称であり、各種メディア間の互換性を保証するものではありません。

オープンエムジー

OpenMG

音楽配信サービスや音楽CDのコンテンツをパソコンに取り込んで管理するための著作権保護技術です。パソコンにインストールしたOpenMG対応ソフトウェアで、音楽コンテンツをハードディスクに暗号化して記録し、そのパソコン上での音楽の再生を楽しむことができます一方、インターネットなどへの不正な配信を防止します。また、「マジックゲート」に対応しているので、「マジックゲート」搭載の端末として認証された機器およびメディアにコンテンツの記録が可能です。

ソニックステージ

SonicStage

音楽配信サービスや音楽CDのコンテンツをパソコンに取り込んで管理するための著作権保護技術です。パソコンにインストールしたOpenMG対応ソフトウェアで、音楽コンテンツをハードディスクに暗号化して記録し、そのパソコン上での音楽の再生を楽しむことができます一方、インターネットなどへの不正な配信を防止します。また、「マジックゲート」に対応しているので、「マジックゲート」

搭載の端末として認証された機器およびメディアにコンテンツの記録が可能です。

アトラックスリー

ATRAC3

「Adaptive Transform Acoustic Coding3」の略。高音質と高圧縮を両立させたオーディオ圧縮技術です。音声データをCDの約1/10に圧縮可能で、メディア容量の小型化が可能です。

アトラックスリープラス

ATRAC3plus

「Adaptive Transform Acoustic Coding3plus」の略で、ATRAC3よりも高い圧縮率で、ATRAC3と同程度あるいは更に高い音質を実現した新しいオーディオ圧縮技術です。

ビットレート

1秒あたりの、情報量を表わす数字のことです。単位はbps (bit per second)。読みかたは、「ビーピーエス」です。例えば、64kbpsは、1秒間に64000bitの情報を持っているということを表わします。この数字が大きい程、音楽を再現するために多くの情報を持っているということになるため、同じ符号化方式（ATRAC3plusなど）の比較では、一般的に48kbpsよりも64kbpsの方が良い音で楽しめるということになります。（ATRAC3、MP3等、他の符号化方式の音とは単純な比較はできません。）

エムピースリー

MP3

MP3はMPEG Audio Layer-3の略で、国際標準化機構（ISO）が定めたカラー動画を圧縮・伸張するための標準方式であるMPEG（Motion Picture Experts Group）で定めた音声圧縮のための規格です。音楽CDのデータの音質はほとんど落とさず、サイズを1/10のサイズに圧縮することができるため汎用性が高く、エンコードやデコードするソフトウェアも簡単に入手することができます。

メニュー一覧

MENUボタンを押してメニューモードに入り、シャトルスイッチで本体の設定を変えます。

詳しくは（ ）内のページをご覧ください。「>」のある表示は、シャトルスイッチと▶■（再生/停止/トーク）ボタンで決定後、次の操作画面が現れます。

液晶の表示 (メニューモード)	設定内容
REPEAT MODE >	お好みに合わせてリピートモードが選べます。 (20ページ)
DISPLAY > (表示モード)	お好みに合わせて表示モードの切り換えができます。 (24ページ)
PAIRING >*	本機を携帯電話に登録します。 (55ページ)
LINK >*	携帯電話との接続を確認します。 (56ページ)
DIALLING >*	本機を使用して電話をかけることができます。 (58ページ)
VOL : (プリセットボリューム)	あらかじめお好みの音量を設定できます。 (31ページ)
SOUND > (デジタルサウンドプリセット)	あらかじめお好みの音質を設定できます。 (25ページ)
AVLS : (音量リミットの設定)	快適な音量レベルに設定できます。 (30ページ)
BEEP : (確認音の設定)	「ON」または「OFF」に設定できます。 (32ページ)
LIGHT : (液晶バックライトの点灯のしかた)	「OFF」: 常に消灯 「ON」: ボタン操作後3秒間点灯 (33ページ)

液晶の表示 (メニューモード)	設定内容
DATE-TIME (現在時刻の設定)	年月日表示/12時間時計表示ができます。 (29ページ)
PC CLK : (パソコンの内蔵時計に合わせる)	パソコンの内蔵時計に本体の時計を合わせることができます。 (28ページ)
FORMAT > (メモリーの初期化)	本機内蔵のフラッシュメモリーのメモリーを初期化できます。 (35ページ)
REGROUP > (再グループ化)	グループ機能を元に戻します。 (34ページ)
[RETURN]	[RETURN] を選び、▶■（再生/停止/トーク）ボタンを押して決定すると、通常画面に戻ります。

* Bluetooth ON/OFFスイッチをONの方向にずらして、約3秒以降にオベーションランプが青色に点滅しはじめてからのみ表示されます。

MP3 File Managerとは

MP3 File Managerは、MP3ファイルをATRAC3またはATRAC3plus形式に変換するSonicStageとは異なり、MP3フォーマットのまま本機に簡単に転送することができるソフトウェアです。

MP3 File Managerは本機にあらかじめインストールされているので、インストールの必要はありません。

ただしMP3 File Managerを使用する前に、必ず付属のCD-ROMからSonicStageをインストールしてください。SonicStageがインストールされていないパソコンでは、本機は認識されません。

SonicStageをインストールしないでMP3 File Managerを使いたいときは、アイウォフィシャルホームページで、本機のドライバファイルをダウンロードして、インストールしてください。
(<http://www.jp.aiwa.com/support/p-audio/>)

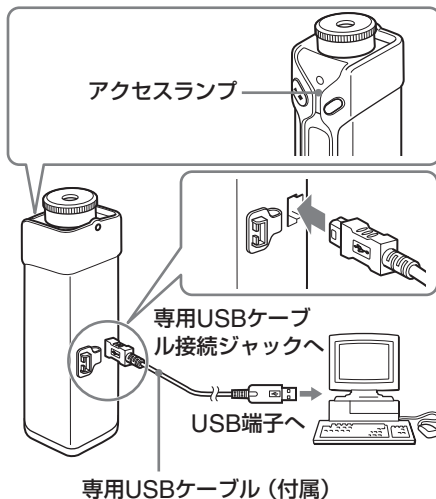
動作環境

- OS: Windows XP Media Center Edition 2004
Windows XP Media Center Edition
Windows XP Professional
Windows XP Home Edition
Windows 2000 Professional
Windows Millennium Edition
Windows 98 Second Edition
- CPU: Pentium II 400MHz以上
- RAM: 64MB以上
- HDD: 5MB以上
- ディスプレイ: ハイカラー(16ビットカラー)以上、800×600ドット以上推奨
- USBポート: USB1.1対応

パソコンから本機にMP3ファイルを転送する

1 本機をパソコンに接続する。

付属の専用USBケーブルの小さいほうのコネクタ部分を本機の専用USBケーブルの接続ジャックに、大きいほうのコネクタ部分をパソコンのUSB端子に差し込みます。本機の表示窓に「CONNECT」と表示されます。



2 パソコンの[マイコンピュータ] - [リムーバブルディスク:]*をクリックする。

* お使いのパソコンがWindows XP Media Center Edition 2004、Windows XP Media Center Edition、Windows XP ProfessionalまたはHome Editionの場合は[MEMORY_P-AUDIO]と表示されます。

3 [ESYS]フォルダをクリックする。

次ページへつづく

パソコンから本機にMP3ファイルを転送する(つづき)

4 [MP3FileManager.exe]をダブルクリックして、MP3 File Managerを開く。

5 本機に転送させたいMP3ファイルをMP3 File Manager画面にドラッグさせる。

MP3ファイルが入っているフォルダごとドラッグして、本機に転送させることもできます。



ご注意

- MP3 File Manager起動中は、USBケーブルを抜かないでください。正常に動作しないことがあります。
- パソコンから本機へデータ転送中はアクセスランプがオレンジ色に点滅します。
- アクセスランプが点滅している間はUSBケーブルを抜かないでください。転送中のデータが破壊されることがあります。
- お使いのパソコンがWindows 2000の場合は、Service Pack 3以降をインストールしてください。
- 本機での曲名表示は、ID3タグの情報を優先して表示します。(ID3タグとは、曲名、アーティスト名などの情報をMP3ファイルに追加するときのフォーマットのことです。本機はバージョン1.0/1.1/2.2/2.3/2.4(MP3のみ)に対応しています)
- USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証はいたしかねます。必ず、付属の専用USB接続ケーブルで接続してください。

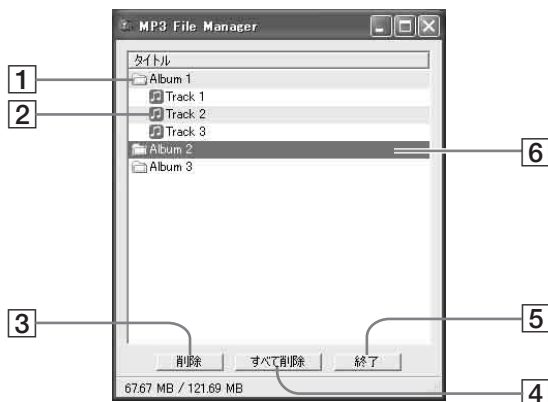
- 同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- パソコンに接続しているときは、本体の操作はできません。
- パソコンに接続しているときは、内蔵のフラッシュメモリーの内容が、Windowsのエクスプローラでも表示できます。
- 本機では、サンプリング周波数44.1kHz、ビットレートが8~320kbpsのMP3に対応しています。

MP3 File Managerを消去してしまった場合、付属のCD-ROMを使って復元することができます。

- 1 本機をパソコンに接続する。
- 2 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる。
- 3 CD-ROMドライブを開いて、[MP3FileManager]フォルダを選んで開く。
- 4 [Japanese]フォルダを選んで開く。
- 5 [MP3FileManager_1.1_Update_JPN.exe]をダブルクリックする。
インストールが始まります。
画面の指示にしたがって操作してください。

(MP3 File Managerは、アイワオフィシャルホームページでもダウンロードすることができます。
(<http://www.jp.aiwa.com/support/p-audio/>)

MP3 File Managerの表示



1 アルバムリスト

フォルダをダブルクリックすると、アルバム内にあるすべての曲を表示します。もう一度ダブルクリックすると、元の表示に戻ります。

2 曲のリスト

3 削除

クリックすると、選択された曲またはアルバムを削除します。

4 すべて削除

クリックすると、すべての曲またはアルバムを削除します。

5 終了

クリックすると、MP3 File Managerが終了します。

6 選択されている部分(青い部分)

CTRLキーまたはShiftキーを押して複数の曲やアルバムを選択することもできます。

ご注意

SonicStageで転送した音楽ファイルは、MP3 File Managerでは表示されません。また、MP3 File Managerで転送した音楽ファイルは、SonicStageでは表示されません。

ファイルを消去する

本機に転送されたMP3ファイルを曲単位またはアルバム単位で消去することができます。



1 MP3 File Managerを開く。

2 消したい曲またはアルバムを選択する。

3 **削除** をクリックする。

💡 ヒント

CTRLキーまたはShiftキーを押して複数の曲やアルバムを選択することもできます。ただし、アルバムと曲を同時に選択することはできません。

曲順を変える

本機に転送されたMP3ファイルの順番を曲単位またはアルバム単位で変えることができます。



1 MP3 File Managerを開く。

2 曲順を変えたい曲またはアルバムを選択する。

3 移動させたい位置にドラッグする。

Bluetoothとは

Bluetoothとは携帯電話やパソコンなどのBluetooth機能対応機器どうしをワイヤレス接続する技術です。本機にBluetooth機能が搭載されたことにより、ケーブルを使わずにBluetooth機能対応携帯電話と接続でき、本機でハンズフリー通話することができます。

ご注意

本機はすべてのBluetooth機能対応携帯電話とのワイヤレス接続を保証するものではありません。詳しくは、53ページをご覧ください。

操作を始めるまえに、下記の説明をよくお読みください。

Bluetooth機器使用上の注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせ下さい。

連絡先：<http://www.jp.aiwa.com/support/p-audio/>

2. 4 FH 1



良好な接続を行うために

良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。

- 他の機器（電気製品/AV機器/OA機器/デジタルコードレス電話機/ファックスなど）から2m以上離れた位置で接続してください（特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください）。他の機器の電源が入っているときにBluetooth機器が近くにあると、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になることがあります。（UHFや衛星放送の特定のチャンネルではテレビ画面が乱れることがあります）。
- 放送局や無線機などが近く、正常に接続できないときは、本機と携帯電話の位置を変更してください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- ワイヤレスLANとの電波干渉について
Bluetooth機器とワイヤレスLAN（IEEE802.11b/g）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、ワイヤレスLANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
 - 本機と携帯電話を接続するときは、ワイヤレスLANから10m以上離れたところで行ってください。
 - 10m以内で使用する場合は、ワイヤレスLANの電源を切ってください。
- 本機は、Bluetoothを使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容等によってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetoothを使用した通信を行う際はご注意ください。
- Bluetoothを使用した通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

お知らせ

- 本機と携帯電話を向き合わせる必要がなく、携帯電話をカバンやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、携帯電話と本機の間に身体をはさむと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。
- 接続する携帯電話によっては、通信ができるようになるまで時間がかかることがあります。
- Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機および携帯電話の電源を切ってください。
 - 病院内/電車内/航空機内/ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
 - 自動ドアや火災報知機の近く

Bluetooth機能の対応バージョンとプロファイル

本機は下記のBluetoothバージョンとプロファイルに対応しています。

ハンズフリー通話をするためには、携帯電話も下記のバージョンとプロファイル（ヘッドセットプロファイルまたはハンズフリープロファイル のどちらか）*に対応するBluetooth機能を搭載している必要があります。

対応Bluetoothバージョン	Bluetooth標準規格Ver.1.2準拠
対応Bluetoothプロファイル	• Headset Profile（ヘッドセットプロファイル）* • Hands-Free Profile（ハンズフリープロファイル）*

* 携帯電話のBluetooth機能がヘッドセットプロファイルとハンズフリープロファイルの両方に対応している場合は、ハンズフリープロファイルを使用することをおすすめします。



お知らせ

- 本機はすべてのBluetooth機能対応携帯電話とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
 - 接続するBluetooth機能対応携帯電話は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
 - 接続する携帯電話が上記Bluetooth標準規格に適合していても、携帯電話の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- ハンズフリー通話中、接続機器や通信環境により、雑音が入ることがあります。
- 本機のBluetoothアンテナ部は、底面近くにありますが、通信速度の低下や雑音の原因になりますので、本体下部を手で覆ったり金属に近づけないでください。

Bluetooth機能についての用語集

- **Bluetooth OFF**

Bluetooth ON/OFFスイッチをOFFの方向にずらして、Bluetooth対応の携帯電話との接続を切断することです。BluetoothをOFFにすると、本機のアクセラランプの青い点滅が止まります。

- **Bluetooth ON**

Bluetooth ON/OFFスイッチをONの方向にずらして、本機とBluetooth機能対応の携帯電話をワイヤレス接続できる状態にすることです（ただし、事前に機器登録（ペアリング）（55ページ）をする必要があります）。

BluetoothをONにすると、本機のアクセラランプが青く点滅します。

- **Bluetoothパスキー**

Bluetooth機能対応機器同士を確認し、接続を認証するために使用する番号です。本機では「0000」がキーとして登録されています。

- **機器登録（ペアリング）**

Bluetooth機能対応機器が周囲のワイヤレス接続可能なBluetooth機能対応機器を検索し、Bluetoothパスキーが一致するかどうかをチェックして登録することです。本機とBluetooth機能対応の携帯電話を接続するときは、はじめに機器登録（ペアリング）を行う必要があります。

- **リンク**

ペアリングで機器を登録したあと、再び本機とBluetooth機能対応の携帯電話を相互に認識させることを、「リンクを張る」といいます。本機とBluetooth機能対応の携帯電話を接続するときは、常にリンクが張られた状態でないと使用できません。

- **プロファイル**

Bluetooth製品の特性ごとに機能を標準化したものです。本機はHeadset Profile（ヘッドセットプロファイル）とHands-Free Profile（ハンズフリープロファイル）に対応しています。

準備から操作まで

必ず下記の手順にしたがって準備から操作の作業を行ってください。

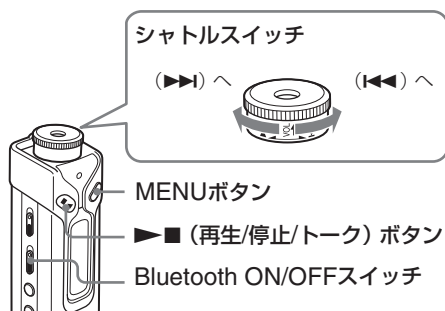
1. 本機を携帯電話に登録する（ペアリング）（55ページ）
2. 接続を確認する（リンク）（56ページ）
3. ハンズフリー通話する（57、58ページ）

本機を携帯電話に登録する(ペアリング)

Bluetooth機能対応携帯電話と接続して本機で電話を受けるときは、まずは本機をBluetooth機能対応携帯電話に登録(ペアリング)し、お互いの機器を認識させます。
必ず登録(ペアリング)を行ってください。
登録(ペアリング)をしないとハンズフリー通話をすることができません。

ご注意

- 本機で音楽再生中のみ登録(ペアリング)を行うことができます。
- 機器登録後、リンクが張られていれば、本機と携帯電話のどちらからでもワイヤレス接続できます。
- 携帯電話側の操作は携帯電話の機種により異なります。携帯電話の取扱説明書も合わせてご覧ください。



1 ▶■ (再生/停止/トーク) ボタンを押して音楽の再生を始める。

2 Bluetoothの電源を入れる。
Bluetooth ON/OFFスイッチをONの方向にずらしします。本機のオペレーションランプが青く点滅します。

3 MENUボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。

 DISPLAY>

4 シャトルスイッチを回して「PAIRING>」を選び、▶■ (再生/停止/トーク) ボタンを押す。
「PAIRING START」が表示されます。

5 ▶■ (再生/停止/トーク) ボタンを押す。
「SEARCH」が点滅し、機器検索待機状態になります。

6 携帯電話で本機(XDM-S710BT)を検索し、選ぶ。
携帯電話側の操作は携帯電話の機種により異なります。携帯電話の取扱説明書も合わせてご覧ください。
携帯電話には「XDM-S710BT」と表示されます。

7 携帯電話で、Bluetoothパスキーを入力する。
携帯電話で「0000」を入力します。
携帯電話に本機が登録されます。
携帯電話と本機がお互いを認識すると本機の表示窓に「COMPLETE」が表示されます。

検索を途中でやめるには

- 1 検索中にメニュー画面から「PAIRING>」を選び、▶■ (再生/停止/トーク) ボタンを押す。
「PAIRING CANCEL」が表示されます。
- 2 ▶■ (再生/停止/トーク) ボタンを押す。
(Bluetooth ON/OFFスイッチをOFFの方向にずらしても検索を止められます。)

ヒント

- 3分間携帯電話が検索されないと、「NO DEVICE」と表示され、自動的に検索が終了します。
- 本機に登録された情報は、電池を交換しても保持されます。

ご注意

- 本機のBluetoothアンテナ部は、底面近くにあります。通信速度の低下や雑音の原因になりますので、本体下部を手で覆ったり金属に近づけないでください。
- 音楽停止中に上記手順を行った場合、「PAIRING」が表示されることがありますが、登録(ペアリング)することはできません。

接続を確認する (リンク)

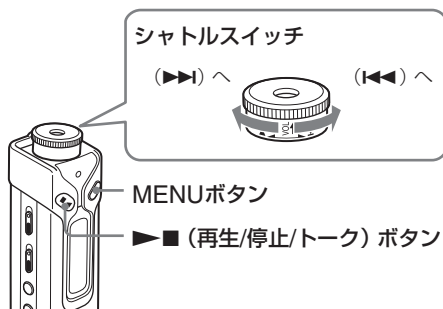
機器を登録したあと、Bluetooth ON/OFF スイッチをONにしておくと、常にリンクが張られている状態を保持するため、本機ではリンクが外れた場合、一定の時間ごとに自動で携帯電話を検索し、リンクを張る処理を行います。

リンクが外れた場合、オペレーションランプが青色とオレンジ色に交互に点滅します。このとき、手でリンクを張ることができます。(リンクが張られているときは、オペレーションランプは青色に点滅します。)

手動でリンクを張る

ご注意

- 本機で音楽再生中のみリンクを張ることができます。
- リンクが外れているとき(オペレーションランプが青色とオレンジ色に交互に点滅しているとき)のみ、下記の手順を行ってリンクを張ることができます。



- 1 MENUボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。

📱 DISPLAY>

- 2 シャトルスイッチを回して
「LINK>」を選び、▶■ (再生/
停止/トーク) ボタンを押す。
「LINK START」が表示されます。

- 3 ▶■ (再生/停止/トーク) ボタン
を押す。
「SEARCH」が点滅し、機器検索状態
になります。

リンクが張られると、本機の表示窓に
「COMPLETE」が表示されます。

検索を途中でやめるには

Bluetooth ON/OFFスイッチをOFFの方向にずらします。

ご注意

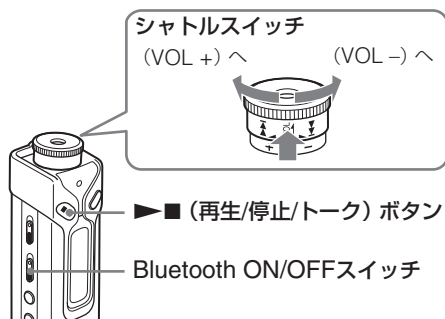
- 30秒間携帯電話が検索されないと、「NO DEVICE」と表示され、自動的に検索が終了します。
- 本機のBluetoothアンテナ部は、底面近くにあります。通信速度の低下や雑音の原因になりますので、本体下部を手で覆ったり金属に近づけないでください。
- リンクは、Bluetooth ON/OFFスイッチがONのときのみ張られます。お互いの機器が接続可能な距離にあっても、Bluetooth ON/OFFスイッチがOFFのときはリンクは張られません。
- リンクが張られているときは、メニュー画面から「LINK>」を選ぶことはできません。
- 音楽停止中に上記の手順を行ったときに「LINK」が表示される場合がありますが、リンクを張ることはできません。

本機でハンズフリー通話する

リンクが張られている状態で着信したときに、本機で電話を受けて通話できます。

で注意

- ハンズフリー通話は、本機で音楽再生中のみ行うことができます。
- リンクは、Bluetooth ON/OFFスイッチがONのときのみ張られます。お互いの機器が接続可能な距離にあっても、Bluetooth ON/OFFスイッチがOFFのときはリンクは張られません。



1 ▶■ (再生/停止/トーク) ボタンを押して音楽の再生を始める。

2 Bluetoothの電源を入れる。

Bluetooth ON/OFFスイッチをONの方向にずらします。
本機のオペレーションランプが青く点滅し、携帯電話とのリンクを確認します。手動でリンクを張りなおしたいときは、56ページをご覧ください。

3 電話がかかってきたときに、▶■ (再生/停止/トーク) ボタンを押す。

音楽の再生を中断して通話できる状態になります。

本機のヘッドホンで相手の音声を聞くことができます。話すときは、本機のマイクに向かって話してください。相手の音声の音量を調節したいときは、シャトルスイッチを上にも下にも回します。

4 通話が終わったら、▶■ (再生/停止/トーク) ボタンを押す。

▶■ (再生/停止/トーク) ボタンを押すと音楽再生状態に戻り、中断した位置から再生が始まります。

ヒント

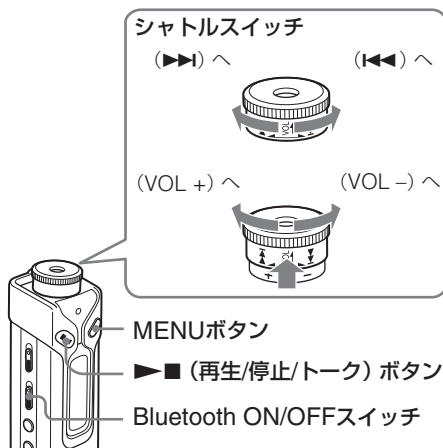
- 着信中は相手の電話番号が本機の表示窓に表示され、オペレーションランプがすばやく青色に点滅します。(非通知の場合やヘッドセットプロファイル(53ページ)で接続されている場合は、「CALLING」が表示されます。また、携帯電話の仕様により相手の電話番号が表示されない場合もあります。)
- 通話中は、オペレーションランプが(着信中より遅く)青色に点滅します。
- 本機のBluetoothアンテナ部は、底面近くにあり、通信速度の低下や雑音の原因になりますので、本体下部を手で覆ったり金属に近づけないでください。
- HOLD機能が働いていても、着信時は▶■ (再生/停止/トーク) ボタンのみ使用することができます。ただし、通話終了後音楽の再生が再開されると、▶■ (再生/停止/トーク) ボタンは使用できなくなります。

本機から電話をかける (ダイヤリング)

お使いの携帯電話が音声認識ダイヤルに対応している場合、携帯電話に登録したボイスタグを本機に発声することにより、本機から電話をかけることができます。

ご注意

- ダイヤリングは、本機で音楽再生中のみ行うことができます。
- お使いの携帯電話が音声認識ダイヤルに対応していない場合、ダイヤリング機能は使用できません。



操作の前に

携帯電話で音声タグの登録をしてください。
(携帯電話側の操作は携帯電話の機種により異なります。携帯電話の取扱説明書も合わせてご覧ください。)

1 ▶■ (再生/停止/トーク) ボタンを押して音楽の再生を始める。

2 Bluetoothの電源を入れる。
Bluetooth ON/OFFスイッチをONの方向にずらします。
本機のオペレーションランプが青く点滅し、携帯電話とのリンクを確認します。手動でリンクを張りなおしたいときは、56ページをご覧ください。

3 MENUボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。

DISPLAY>

4 シャトルスイッチを回して「DIALLING>」を選び、▶■ (再生/停止/トーク) ボタンを押す。
「DIALLING START」が表示されます。

5 ▶■ (再生/停止/トーク) ボタンを押す。

6 携帯電話に登録した音声タグを発声する。

本機のマイクに向かって発声してください。
発声した音声が携帯に登録された音声タグと合致しない場合、「NOT FOUND」が表示されます。
通話中は、本機のヘッドホンで相手の音声を聞くことができます。話すときは、本機のマイクに向かって話してください。
相手の音声の音量を調節したいときは、シャトルスイッチを上へ引いてから回します。

7 通話が終わったら、▶■ (再生/停止/トーク) ボタンを押す。

▶■ (再生/停止/トーク) ボタンを押すと音楽再生状態に戻り、中断した位置から再生が始まります。

ダイヤリングを途中でやめるには

- 1** ダイヤリング中にメニュー画面から「DIALLING>」を選び、▶■ (再生/停止/トーク) ボタンを押す。
「DIALLING CANCEL」が表示されます。
- 2** ▶■ (再生/停止/トーク) ボタンを押す。
(Bluetooth ON/OFFスイッチをOFFの方向にずらしてもダイヤリングを止められます。)

ヒント

本機のBluetoothアンテナ部は底面近くにありますが、通信速度の低下や雑音の原因となりますので、本体下部を手で覆ったり金属に近づけないでください。

索引

五十音順

ア行

アクセスランプ	14、16、47
頭出し	19
液晶バックライト	33
エクスプローラ	17、27
音もれ防止 (AVLS)	30
オペレーションランプ	14、55～58
音楽CD	9
音楽配信サービス (EMDサービス)	9
音量	18、31、32

カ行

確認音 (BEEP)	32
聞く	18
グループ	19
故障かな？と思ったら	37
誤操作防止 (HOLD)	27

サ行

再生	18
再グループ化	34
時刻設定	28、29
初期化 (FORMAT)	35
シャトルスイッチ	14、18～24、26、 28～35、55～58
センテンスリピート	20、22、23

タ行

タイトル	24
ダイヤリング	58
ダウンロード	9
通話	57
デジタルサウンドプリセット	25
転送	9、16、47
電池	13
残量表示	13
時計	28、29
トラックリピート	20、21

ハ行

パスキー	54、55
パソコン	9、16、47
早送り	19
早戻し	19
ハンズフリー機能	57
ビットレート	45
表示窓	15、21、41、42
表示モード	24
フォーマット (初期化)	35
付属品	12
プロファイル	54
ペアリング	54、55
ヘッドホン	12、18
ホールド (誤操作防止)	27

マ行

メニュー一覧	46
--------	----

ラ行

リピート回数	23
リピートモード	20
リンク	54、56

アルファベット順

A、B、C

A-Bリピート	21～22
ATRAC3	45
ATRAC3plus	45
AVLS (音もれ防止)	30
BEEP (確認音)	32
Bluetooth	51～54
CD (音楽CD)	9
CD-ROM	12、16

D、E、F、G、H、L、M

DIALLING	58
DATE-TIME	29
EMDサービス (音楽配信サービス)	9
FORMAT	35
GROUP	19、25
HOLD	27
LIGHT	33
LINK	56
MagicGate	45
MENUボタン	14、20、23～24、26、 28～35、55～56、58
MP3	45
MP3 File Manager	47

O、P、R、S

OpenMG	45
PAIRING	55
PC CLK	28
REGROUP	34
REPEAT MODE	20、23
REPEATボタン	21、22
RETURN	46
SHUF	21
SonicStage	45

U、V、W

USB接続ケーブル	12、16、47
VOLUME	18、31～32
WAV形式	9
Windowsエクスプローラ	17、27

お問い合わせ窓口のご案内

本商品についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- ホームページで調べるには ⇒ アイワパーソナルオーディオ・カスタマーサポートへ
(<http://www.jp.aiwa.com/support/p-audio/>)

本商品に関する最新サポート情報や、よくあるお問合せとその回答をご案内しています。

- 電話・FAXでのお問い合わせは ⇒ アイワお客様相談センターへ（下記電話・FAX番号）

- 本機の商品カテゴリーは[オーディオ]の中で選択してください。
- お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

◆ セット本体に関するご質問時：

- 型名：
- シリアル番号：本体電池ぶたの裏面に記載されています。
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

◆ 付属のソフトウェアに関連するご質問時：


- ソフトウェアのバージョン：
- お使いのパソコン（メーカー名/型名）：
- パソコンにインストールされているOS名：
- メモリ容量/ハードディスクの空き容量：
- CD-ROMドライブの型名/種類（外付けまたは内蔵）：
- エラーメッセージ（エラーメッセージが表示された場合）：

アイワ商品の修理、お取扱い方法、お買い物相談、その他アイワに関するお問い合わせ

アイワホームページ ● <http://www.jp.aiwa.com/>

アイワホームページは、アイワの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「サポート情報」や「よくあるご質問（FAQ）」に関しては、ホームページをご活用ください。

アイワお客様相談センター

- ナビダイヤル..... 0570-00-4680
(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。)
- 携帯電話・PHSでのご利用は.....0466-31-4833
(ナビダイヤルがご利用になれない場合はこちらをご利用ください。)
- FAX.....0466-31-4250

受付時間：月～金曜日 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00 *修理に関するお問い合わせはFAXでもお受けしております。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35